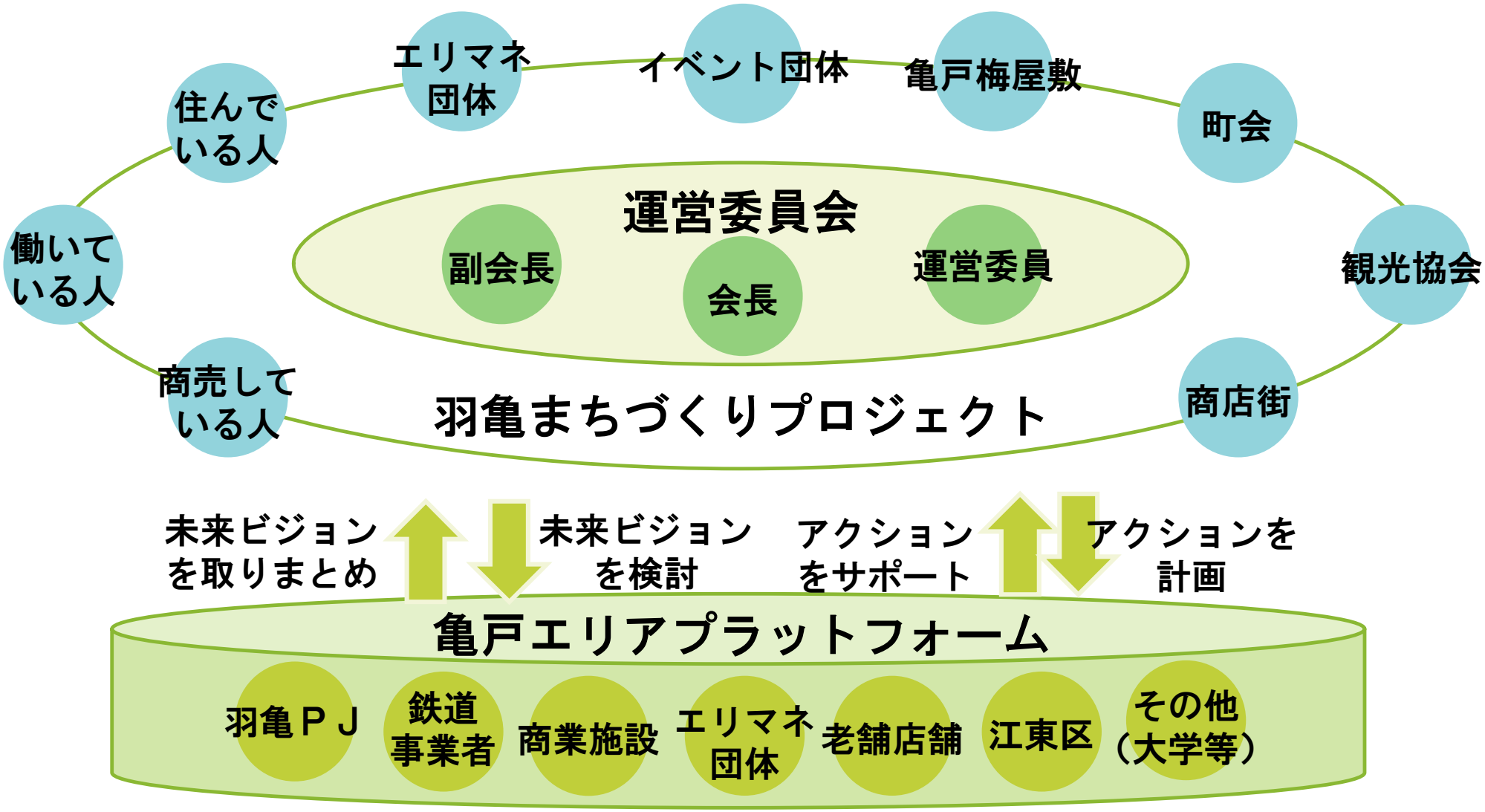
第４章 未来ビジョンの実現に向けて

未来ビジョンの検討とまちづくりの推進体制

未来ビジョンは、羽亀まちづくりプロジェクトにおける検討内容も踏まえつつ、2025年12月に設立した『亀戸エリアプラットフォーム』において、2026年度に正式に作成されました。未来ビジョンに基づきアクションに取り組むにあたっては、エリアプラットフォームがその活動を支援します。



未来ビジョンの作成とこれからのアクション



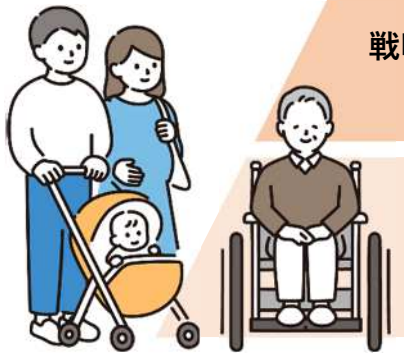
VISION

六方芳!!
ほっぺがゆるむ
水彩シティ亀戸

未来ビジョンの策定

戦略とアクションプランの決定

課題の共有



課題の共有とビジョン設定の
プロセス

アクションと具体的な事業推進の
プロセス

複数事業の継続による
持続可能な取り組み

事業の推進

リーディングプロジェクトの始動
主体ごとの個別事業計画立案

社会実験による
課題解決の糸口模索



ACTION



ロードマップ

短 期
2025年度・2026年度

エリアプラットフォームの構築やビジョンを共有するフェーズ。

中 期
2027年度～2029年度

未来ビジョンに基づき各種活動を実験的に進めると共に、活動を持続可能にするための仕組みの検討や収益事業の準備をするフェーズ。

長 期
2030年度～

収益事業により活動を安定化させ、未来ビジョン実現を目指すフェーズ。

エリプラ設立

未来ビジョン策定

活動に応じた定期的な見直し

部会ごとの活動をスタート（案）

- **自 主 事 業 部 会** ：主に活動を維持する収益事業を検討
- **まちづくり支援部会**：主に地域活動を応援
- **まちづくり連絡部会**：主にまちの空間的再編の検討
- **広　報　部　会** ：主にエリプラやビジョンに基づく活動をPR

活動に関連したフィールドテストやプロジェクトを適時試行

連携

羽亀まちづくりプロジェクトの活動

六方芳！ほっぺがゆるむ水彩シティ亀戸